岡山大学における研究インテグリティの確保に向けた体制

★リスクの報告フロー

教職員等への要請等

教　職　員　等

リスクが懸念される場合に相談

学内ルールに基づき
情報開示・申告

部局事務担当
（安全保障輸出管理、利益相反、共同研究、寄附、兼業、留学生受入　等）

大学本部事務担当

安全保障輸出管理担当	利益相反マネジメント担当	産学連携担当、寄附担当	人事担当	国際担当

情報の共有と連携

本部と連携

研究インテグリティ・マネジメント相談窓口　integrity@adm.okayama-u.ac.jp

研究インテグリティ・マネジメント専門部会

既存の体制・手続きで判断しかねる事案に対応

構成員：　副理事、総務・企画部長、研究協力部長、国際部長、人事課長、研究協力課長、産学連携課長、国際企画課長　等

研究インテグリティ・マネジメント委員会

経営判断が必要な重大事案に対応

構成員：　関係担当理事、副理事、副学長　等

【想定される具体例】

- 海外出張
- 海外からの研究員・留学生の受け入れ
- 海外とのクロスアポイントメント
- 海外機関との兼業・副業
- 海外機関からの栄誉称号付与
- 海外機関との共同・受託研究契約
- 海外からの寄附の申し入れ
- 海外ファンドへの申請・受け入れ